

科目名称	臨床薬理学
授業コード	BK250
英語名称	Basic Clinical Pharmacology
学期	2024年度後期
単位	1.0
担当教員	齊藤 百合花
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	薬理学は副作用等を未然に防止するため、また、医療ミスを減少させるためには不可欠な科目である。そこで、本講義では薬物の効果、作用機序、薬物動態、副作用を理解し、薬を正しく用いられるような知識と基礎力を身につけることを目的とする。
科目に関連する実務経験と授業への活用	薬剤師としての実務経験を持つ教員が、新薬情報も含めて講義する。
到達目標	この科目は専門基礎分野の科目群のひとつであり、ディプロマ・ポリシーの「科学的な根拠に基づき、対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力、基本的な問題解決能力を修得」するための科目に該当する。 薬理学は薬の取り扱いやその作用を学ぶものであり、その内容は広範囲でいずれの看護専門領域にも深くかわる。 医薬品等の持つ副作用や取り扱いにおける問題点から人体や病態を理解した上で、科学的思考ができるように指導し、将来看護師として社会の要請に対応できる基礎を身に付ける。 そのために生体作用や科学的な知識等を統合し、薬物名とその薬理作用を含めた特徴を説明できることを到達目標とする。
計画・内容	第1回：薬の基礎知識（薬とは、動態、作用） 正しい薬の使い方（保管） 第2回：薬の基礎知識（副作用、相互作用、血中濃度） 注意が必要な患者への薬の使い方（肝・腎機能低下） 第3回：薬の基礎知識（類似・ジェネリック医薬品、添付文書） 正しい薬の使い方（用法） 知っているのと役に立つ薬に関すること（薬価） 第4回：知っておきたい基本の薬（高血圧治療薬、昇圧薬、高脂血症治療薬） 注意が必要な患者への薬の使い方（高齢者） 第5回：知っておきたい基本の薬（心疾患治療薬） 正しい薬の使い方（貼付薬） 第6回：知っておきたい基本の薬（脳梗塞治療薬） 注意が必要な患者への薬の使い方（手術・検査、小児） 第7回：知っておきたい基本の薬（感染症治療薬） 知っているのと役に立つ薬に関すること（消毒薬） 第8回：知っておきたい基本の薬（消化器疾患治療薬、抗アレルギー薬） 知っているのと役に立つ薬に関すること（持参薬）

計画・内容	<p>第9回：知っておきたい基本の薬（呼吸器疾患治療薬、鎮痛薬、高尿酸血症治療薬） 正しい薬の使い方（坐薬、吸入薬） 知っているのと役に立つ薬に関すること（経口投与困難）</p> <p>第10回：知っておきたい基本の薬（精神疾患治療薬） 正しい薬の使い方（点眼・鼻・耳薬） 知っているのと役に立つ薬に関すること（転倒）</p> <p>第11回：知っておきたい基本の薬（輸液、輸血剤） 知っているのと役に立つ薬に関すること（注射薬）</p> <p>第12回：おさえておきたいハイリスク薬（糖尿病治療薬） 正しい薬の使い方（自己注射製剤） 知っているのと役に立つ薬に関すること（インスリン単位）</p> <p>第13回：おさえておきたいハイリスク薬（がん化学療法） 知っているのと役に立つ薬に関すること（血管外漏出）</p> <p>第14回：おさえておきたいハイリスク薬（がん疼痛治療薬）</p> <p>第15回：おさえておきたいハイリスク薬（ステロイド、免疫抑制薬） 正しい薬の使い方（塗布薬） 知っているのと役に立つ薬に関すること（妊婦・授乳婦）</p>
授業の進め方	<p>教科書 に添って、主にPowerPointを使用して行う。教科書 や補助教科書 を使用しながら、要点を習得できるように講義する。講義の理解を補助するために、解剖学や生理学的な知識を復習しながら身体と薬の関係を理解できるようにすることを目的とする。</p> <p>～ は教科書・参考書欄を参照</p>
能動的な学びの実施	<p>実践への応用として、実際に臨床で使用される文書や解説書を使って、薬の情報を読み取る練習を行う。</p>
授業時間外の学修	<p>予習：教科書を読む（30分～1時間）、解剖生理学の該当分野を復習する（30分） 復習：授業で習ったことをまとめる（1～2時間）</p>
教科書・参考書	<p>教科書： これならわかる！看護に役立つくすりの知識 ナツメ社 今日の治療薬2024 浦部晶夫他編集 南江堂</p> <p>補助教科書： 系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 医学書院 薬がみえるVol.1～4 医療情報科学研究所編集 メディックメディア</p> <p>参考書：臨床場面でわかる！くすりの知識 改訂第2版 五味田裕監修 南江堂</p>
成績評価方法と基準	<p>適宜作成する課題レポート（10%）と定期試験(90%)</p>
課題等に対するフィードバック	<p>適宜講義中の口頭試問を行い、解説する。</p>
オフィスアワー	<p>CampusSquareを参照</p>
留意事項	<p>授業中は原則としてPC・タブレット・スマートフォン・携帯電話・音楽プレーヤー等の使用を禁止する。教科書に沿って講義するため、第1回目の授業から教科書 を持参すること（教科書 は教科書・参考書欄を参照）。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評	<p>Zoomによるオンライン授業あるいは授業動画配信によるオンデマンド授業とする 適宜作成する課題レポート（10%）と定期試験(90%)により判定する。</p>

評価方法と基準」	Zoomによるオンライン授業あるいは授業動画配信によるオンデマンド授業とする 適宜作成する課題レポート（10%）と定期試験(90%)により判定する。
----------	---